貨物軽自動車運送事業安全管理者講習用テキスト（初版） 正誤表

	(誤)	(正)
29ページ 中段	(7) <u>業務に従事しようとする</u> 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びに運転者に対して使用するアルコール検知器を常時有効に保持すること。	(7) 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びに運転者に対して使用するアルコール検知器を常時有効に保持すること。
50ページ 下段	<p><指導の実施時期> 次のいずれかの指導等を初めて事業用自動車に乗務する前（やむを得ない事情がある場合は乗務開始後1か月以内）に実施が必要になります。</p> <p>・「指導及び監督の指針」第2章2(2)に規定する内容の指導を<u>15時間以上</u>と安全運転の実技を<u>20時間以上</u>実施</p>	<p><指導の実施時期> 次のいずれかの指導等を初めて事業用自動車に乗務する前（やむを得ない事情がある場合は乗務開始後1か月以内）に実施が必要になります。</p> <p>・「指導及び監督の指針」第1章2に規定する内容の指導を<u>5時間以上</u>と安全運転の実技を<u>可能な限り</u>実施</p>